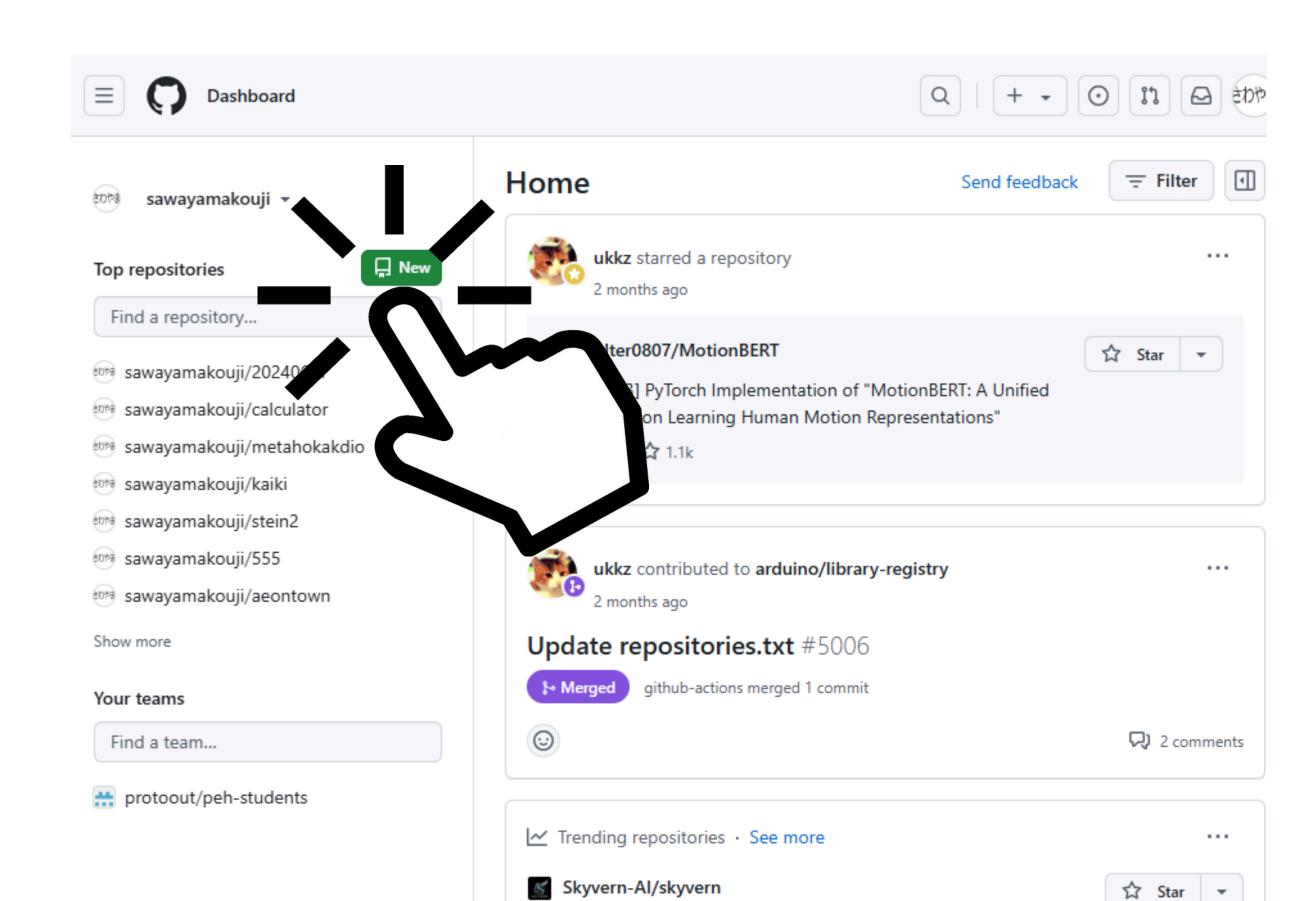
GitHubにログインし、トップページの「New」ボタンをクリックします。











Create a new repository

A repository contains all project files, including the revision history. Already have a project repository elsewhere? <u>Import a repository</u>.

Required fields are marked with an asterisk (*). Repository template No template ▼ Start your repository with a temp Repository name * Owner * sawayamakouji sakaganomeruzo sakaganomeruzo is available. Great repository names are short and memorable. Need inspiration? How about shiny-enigma? Description tional)





Public

Anyone on the internet can see this repository. You choose who can commit.

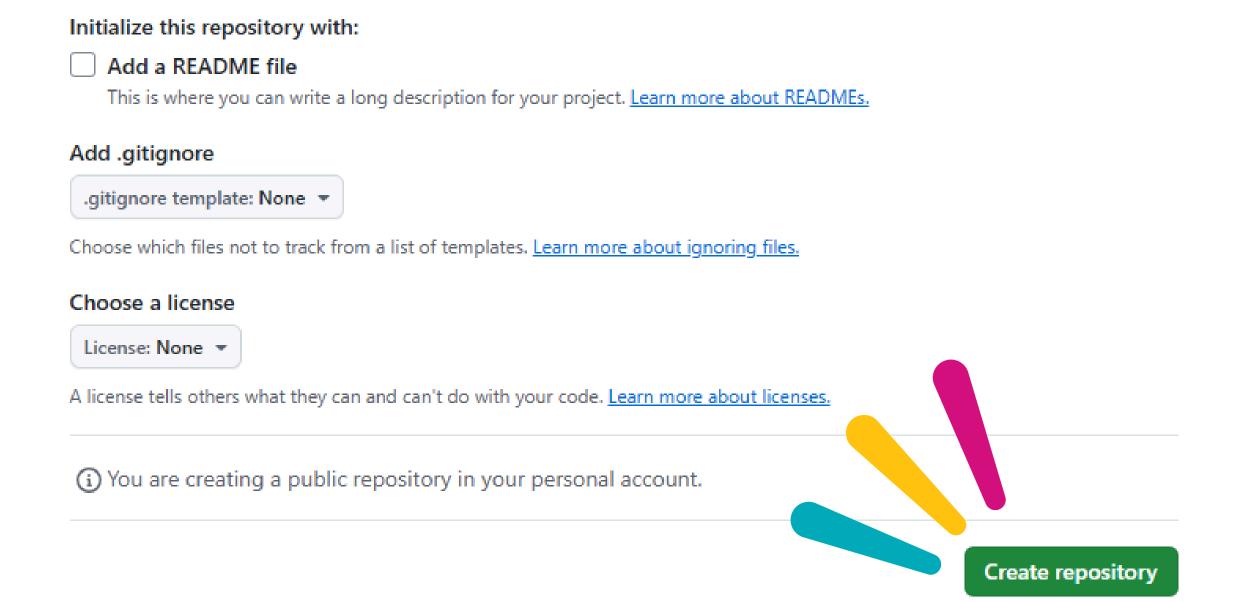




Private

You choose who can see and commit to this repository.

「Repository name」に 任意のリポジトリ名を入力し、 「Public」を選択します。



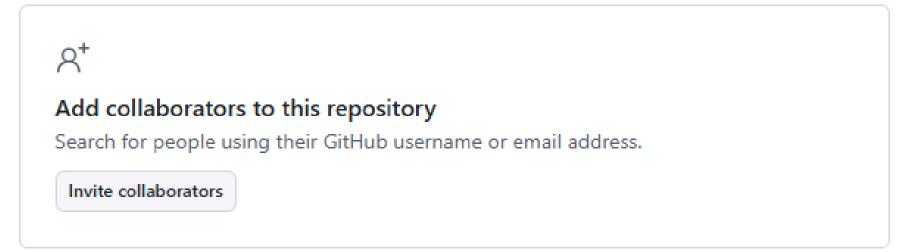
Create repositoryをpush!



Set up GitHub Copilot

Use GitHub's Al pair programmer to autocomplete suggestions as you code.

Get started with GitHub Comilot



Quick setup — 'Sve y de bis kind of thing before

Set up in Desktop

https://github.com/sawayamakouji/8512.git

Get started by <u>creating a new file</u> or <u>uploading an existing file</u>. We recommend every repository include a <u>README</u>, <u>LICENSE</u>, and <u>.gitignore</u>.

...or create a new repository on the command line

```
echo "# 8512" >> README.md
git init
git add README.md
git commit -m "first commit"
git branch -M main
git remote add origin https://github.com/sawayamakouji/8512.git
git push -u origin main
```

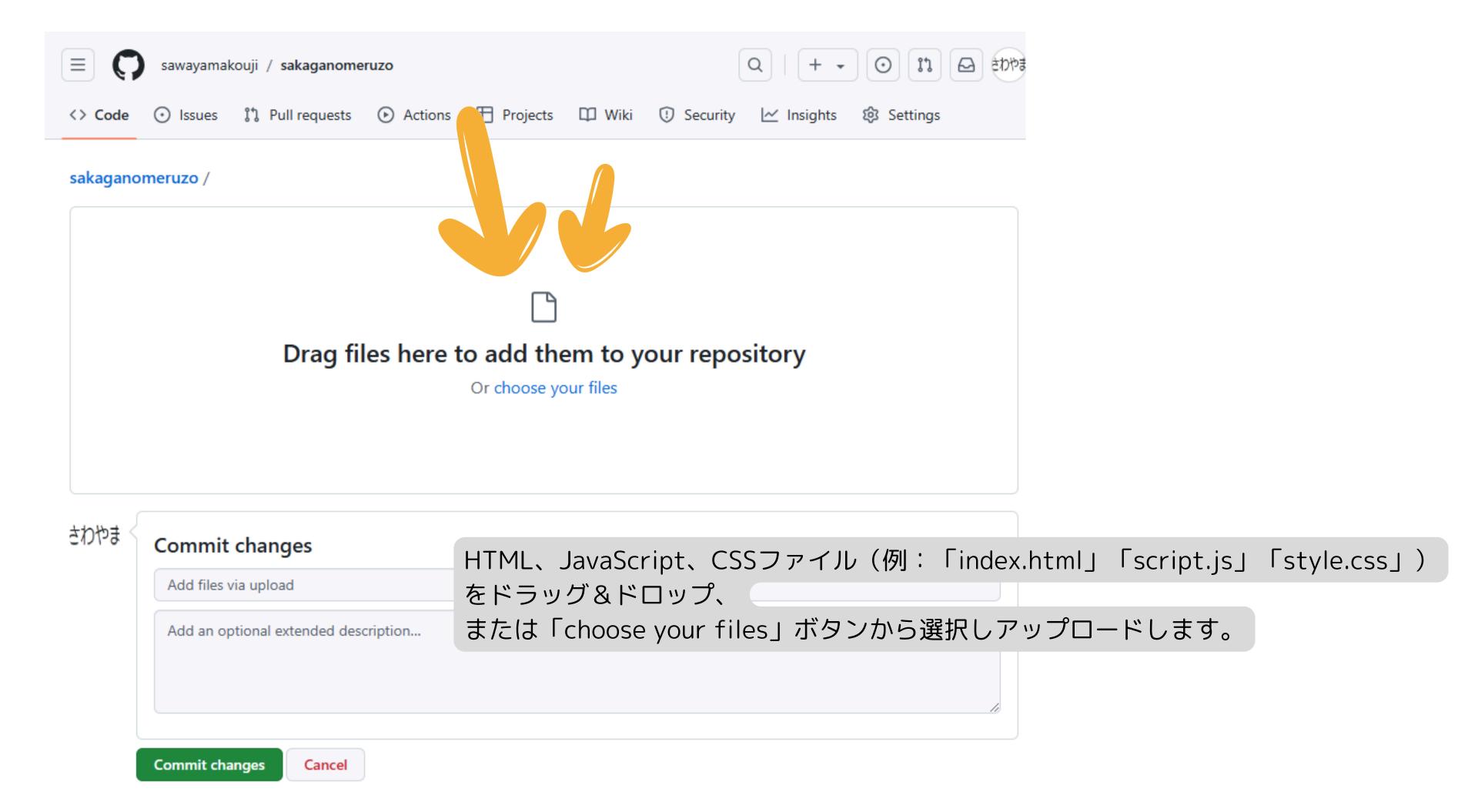
直接ファイルを作ったりアップロードするときは「Upload files」を選択します。

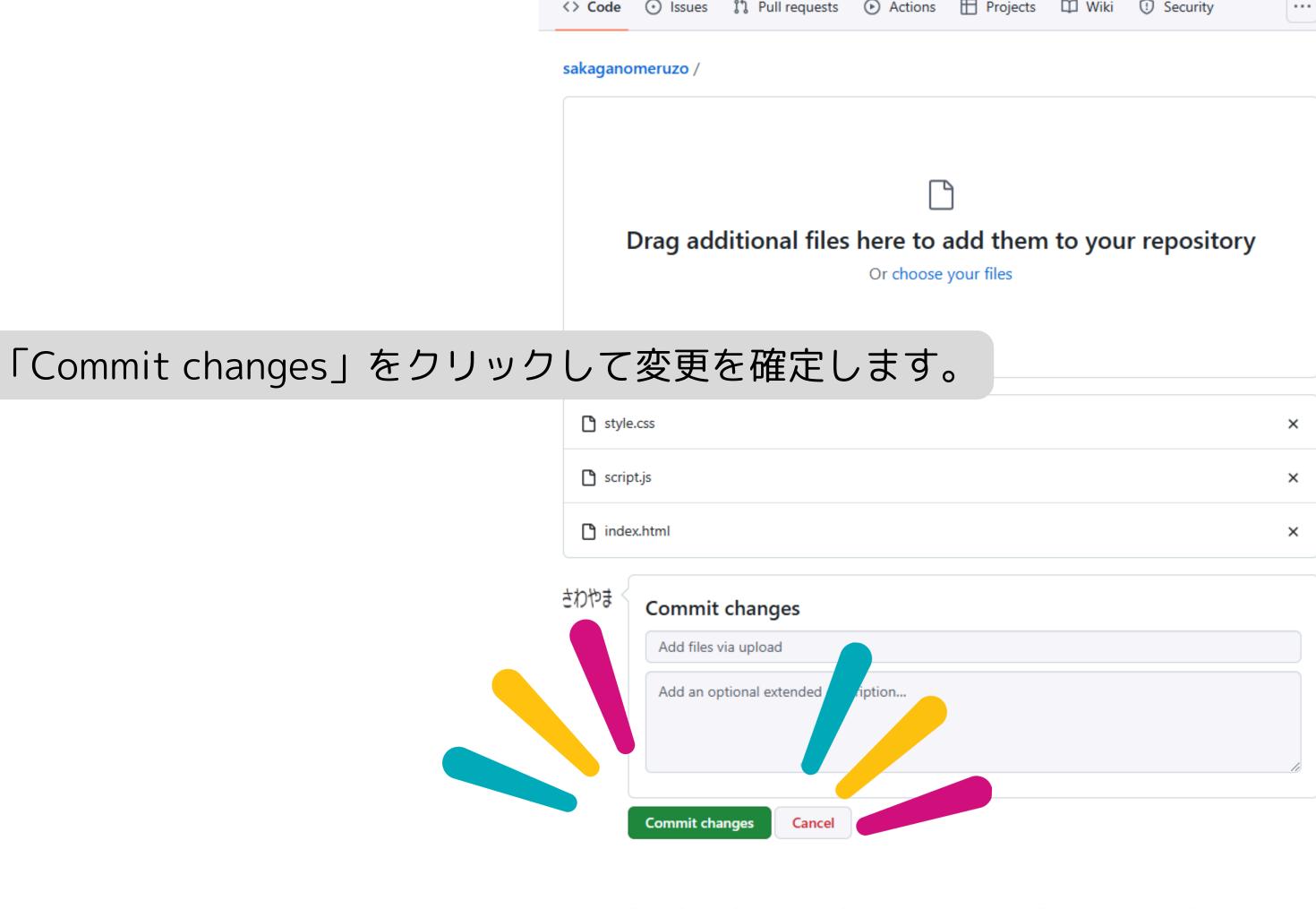
...orとかはVSコードとか使う時です

...or push an existing repository from the command line

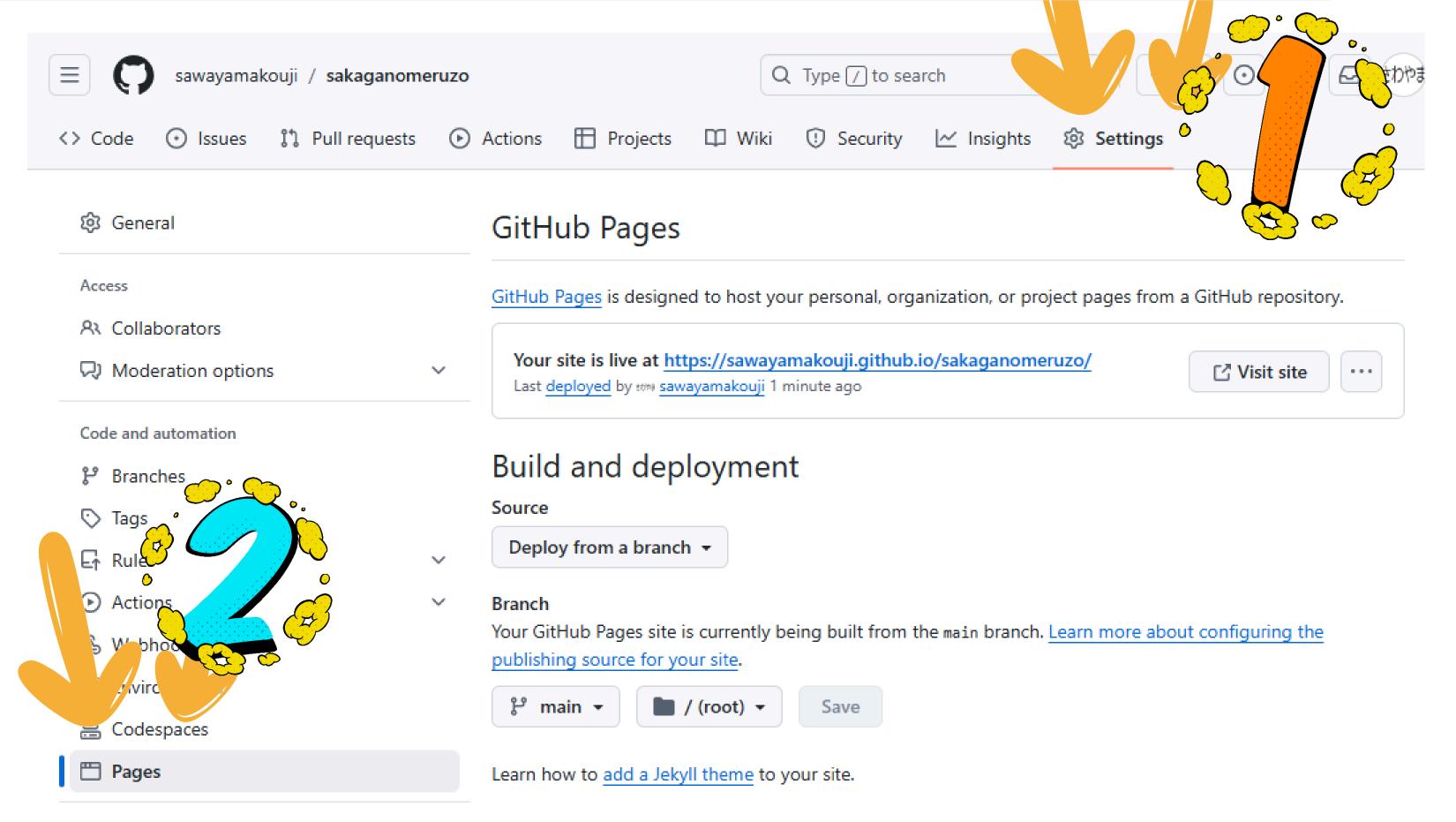
```
git remote add origin https://github.com/sawayamakouji/8512.git
git branch -M main
git push -u origin main
```

СŌ





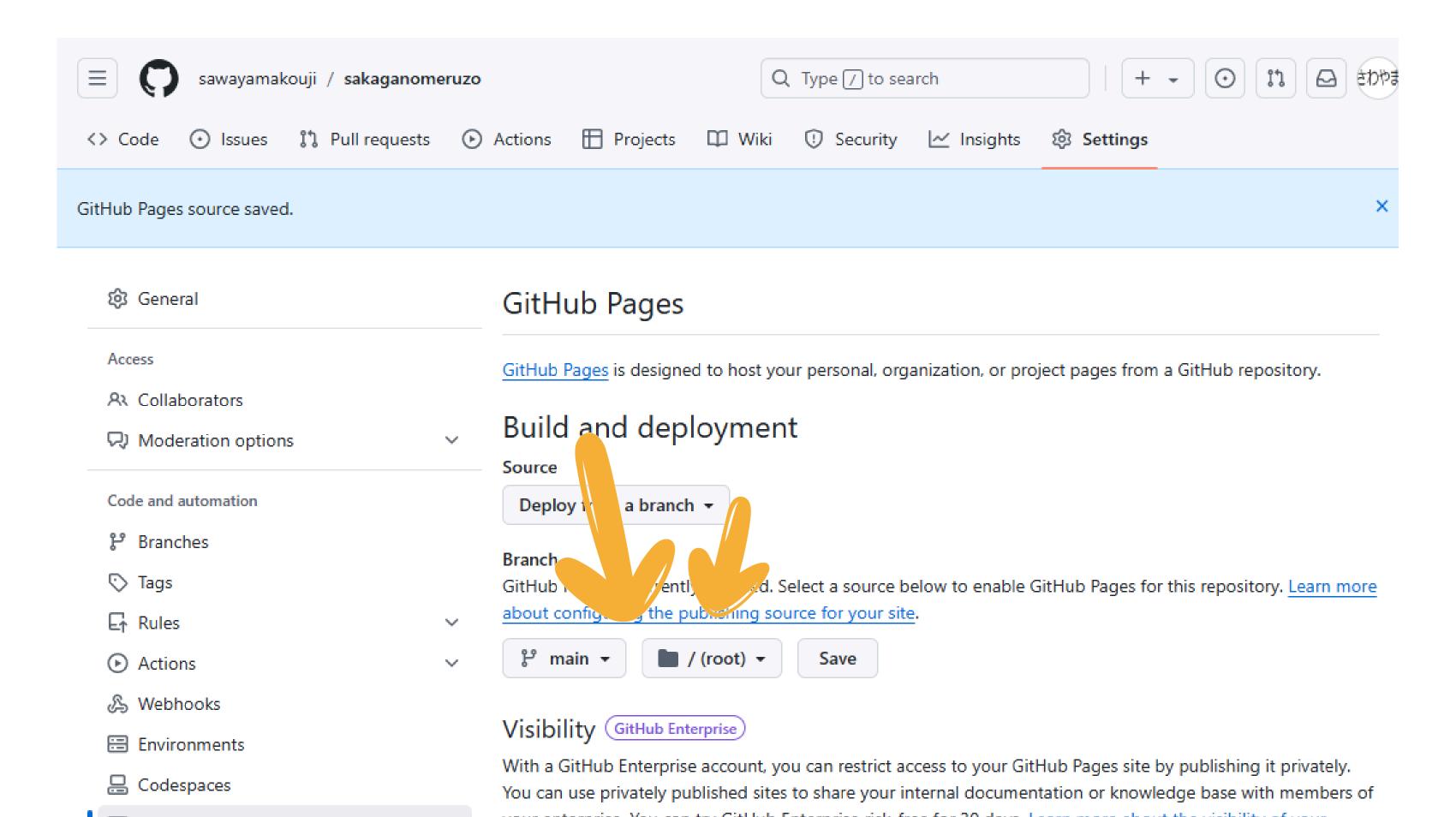
リポジトリの「Settings」タブを開き、「Pages」セクションに移動します。



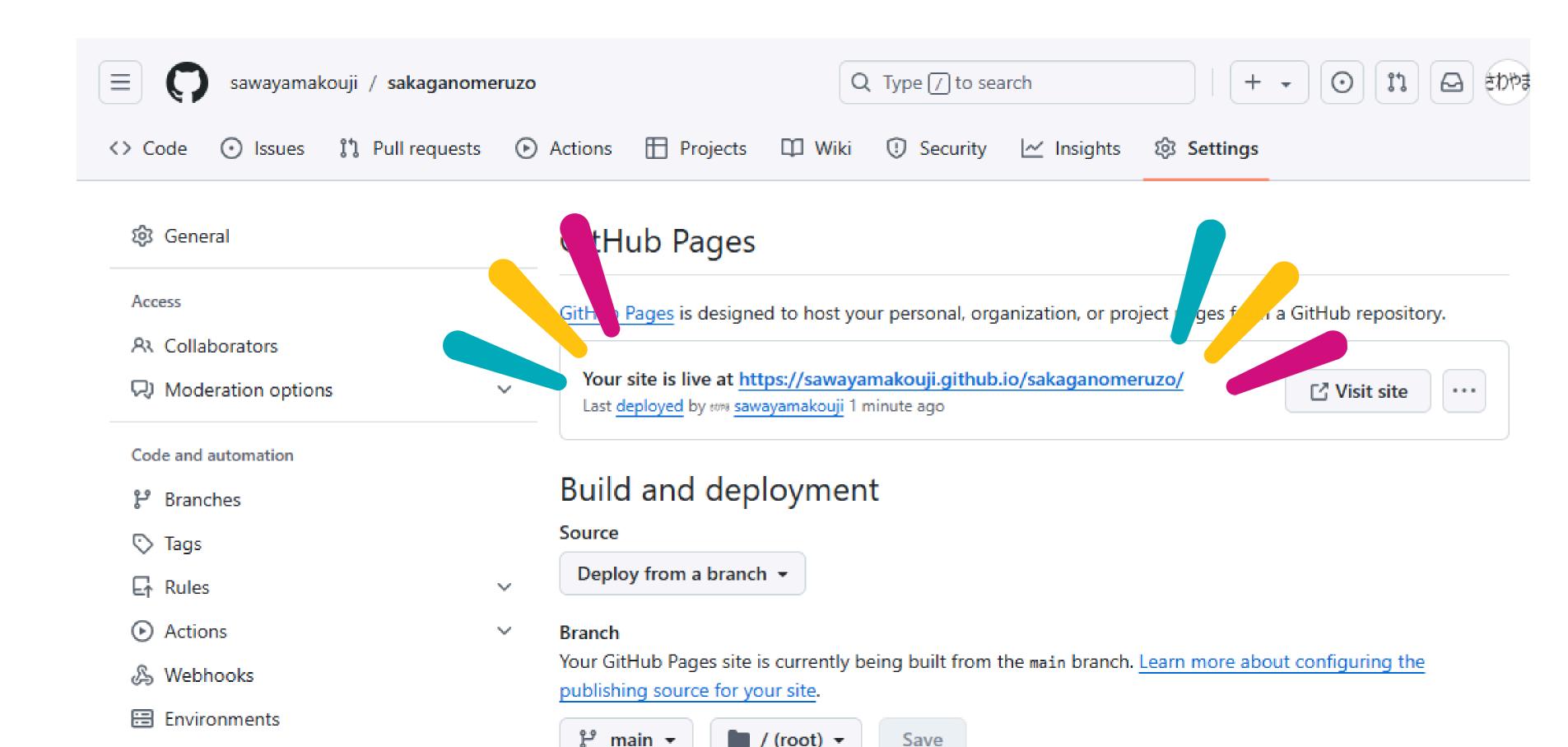
Security

Your site was last deployed to the github-pages environment by the pages build and deployment workflow.

「Source」から「Deploy from a branch」を選択し、「Branch」を「main」に設定します。



設定を保存すると、GitHub PagesのURLが表示されます。



1. GitHubって何?

GitHubはコードやファイルを保存・共有する場所です。プロジェクトごとに「リポジトリ」を作り、ファイルの履歴を記録しながら変更やバージョン管理ができます。プログラミングに限らず、文章やデザインファイルの管理にも使えます。

2. よく使う用語

リポジトリ (Repository): プロジェクトごとの「フォルダ」や「箱」みたいなもの。 ブランチ (Branch): 「コピー」のようなもの。本番とは別に変更を加えるための安全な場所。 コミット (Commit): 変更を「保存する」こと。メモを残しながら変更を記録できます。 プルリクエスト (Pull Request): 他の人に変更をレビューしてもらう機能。チームで作業する ときに便利です。

3. GitHubでのコード変更方法

リポジトリを開く: GitHubで自分のリポジトリを表示。

変更したいファイルをクリック: ファイル一覧から変更したいファイルを選びます。

鉛筆マークで編集: ファイルの右上にある鉛筆アイコンをクリックして編集モードに入りま

す。

編集後、「Commit changes」をクリック: 変更内容にコメントを残し、「Commit changes」で保存します。

4. GitHub Pagesで簡単にサイト公開 GitHub Pagesを使うと、リポジトリの内容を簡単なWebサイトとして公開できます。設定は、「Settings」 > 「Pages」からできます。URLも自動で生成され、他の人とシェア可能です。

5. 便利なチップス

READMEファイル: リポジトリの「顔」。プロジェクトの説明や使い方を書くと良いです。 Issues (イシュー): 問題点や改善点をメモする場所。メモやToDoリストとしても使えます。 Fork (フォーク): 他の人のリポジトリを自分のアカウントにコピーして使う機能。勉強や参考にしたいプロジェクトを保存できます。

Actions (アクション):自動化機能。例えば、コードを更新したら自動でテストを実行するなど、便利な自動処理ができます。

6. GitHubを使うメリット

バージョン管理が簡単: 古いバージョンに戻ったり、誰がどこを変更したかが分かります。 コラボレーションがしやすい: 複数人で同時に作業ができ、各自の変更をスムーズに統合でき ます。

世界中と共有可能: 公開リポジトリなら誰でもアクセスできるので、作品を公開したり、他の人のプロジェクトを学べます。